

Vol.22 No.1 (No.276) 2012.5.28  
東洋英和女学院大学図書館

今回は大学院のミニ特集です。

「ふしぎな図書室」

大学院人間科学研究科長 小坂和子（臨床心理学）

六本木五丁目の鳥居坂を上ったところ。

『BLUE MAN GROUP』の白抜きの看板を背に、闇夜に光る東京タワーのてっぺんを左に見る。ちょうど、暖色の灯火に紋章のような模様の扉の前に立つことになる。

ごーっ。・・扉が開いて、・・・閉じる。ごーっ。灰色の床を進む。こつん、こつん。

ロビーに続く次の扉。ごーっ。・・・・・・ごーっ。

守衛さんがまっすぐこちらを見て座っている。「こんにちは、図書室に来たんですが」「はい、こんにちは、どうぞ。」ガラスの扉が開く。くいーん。「階段を下りて、右です」「地下の図書室は初めてですか?」・・・・・・くいーん。守衛さんの姿が背後に消える。

目の前には真鍮の振り子時計。

**「階段を下りて右」「まっすぐ進んで、107号室」**

**長い階段を下りて、右に曲がり、うす暗い廊下をまっすぐ進んでいくと、たしかに107という番号札がかかったドアがあった。**

ドアの中には小柄な老人たちがしずかに座っている。あなたは一人を選んでその前に座る。

**「ようこそ」「本をさがしているんですが」「……それが私の仕事でありますからには、どんな本でもおさがしましょうぞ。」**ずいぶん妙な話し方だな、とあなたは思う。そして、題名を伝える。

**老人の目がきらりと光った。「それは、ああ、なかなか興味深い」**

「ぼく」は、老人に導かれて市立図書館の地下の大がかりな迷路みたいなところを歩いていき、扉を開く。

**扉の奥は宇宙<sup>うちゅう</sup>にあいた穴みたいにまっくらだった。**

専門書であれ、小説であれ、読んでいる自分がその穴の中にすいこまれていくような気持ちになる時がある。それはその世界を共有できている証なのだろう。

扉のこちら側では受け手を得られないまま、地下に潜り込んでいかざるを得なかった本物のことばの世界。読み終えてみると、いつもの眺めがいくぶん違ってくる。

図書館地下室にはドーナツを揚げている羊男と、目が痛くなるほどきれいな少女が住んでいた。「ぼく」は『運命を変える新月の夜』に図書館から脱出する。・・・

「ぼく」は今、ひとりぼっちになった。そして、まわりの深いやみを『新月の夜のように』と静かに感じている。何が起こったのかわかっているから。

最もドキドキするのは、書棚の背表紙に誘われてページを開いて読みはじめて、やがて、まざまざと見知らぬ宇宙が浮かび上がってくる瞬間だ。

六本木の大学院図書室は、夜9時45分まで開いています。  
まるで新月の夜の「ふしぎな図書館」のようでしょう？

(引用とコラージュ：村上春樹 (2008)「ふしぎな図書館」講談社)



## 大学院の先輩職員からのメッセージです

### 「大学院図書室回想」

大学院図書室は1993年5月に開室しました。

当時新卒だった私は、2週間だけ大学・短大図書館（現大学図書館）で基礎的なオリエンテーションを受け、開室準備のため大学院図書室へ。

2,500冊ほどの真新しい本、たった3タイトルの洋雑誌、まだ何もデータが登録されていないパソコン1台と司書1年目の私だけ...という何とも心許ないスタートでした。

調べたいことがあっても調べるツールがない。

1期生33名はさぞ不便でご苦労されたと思いますが、そこは社会人学生、智恵と包容力で乗り越えて下さいました。

それから18年。多くのスタッフの働きのもと今の大学院図書室に。

まさに「図書館は成長する有機体 (by ランガナタン)」なのでした。

(元大学院図書室司書：青山)

レポートに追われる学生生活から解放されてはや〇〇年。私の学生時代は今ほどインターネットやPCが普及しておらず、文献も自分の足で探し回っていた。

膨大な情報を一瞬で手に入れられる今の学生が羨ましくもあるが、「正確な情報」を見極める作業が増えたようにも思う。しかし時代を問わず情報の海で迷える学生（や教員?）を導いてくださるのが図書館の皆さんだ。一人でも多くの学生がこれに気づき、利用してくれれば良いと思う。

(本学大学院修了・大学職員)

## TOPIC. 1 OPACで本の表紙が見られます

OPACの詳細画面に本の表紙の画像が掲載されるようになりました。

また、「Bookwebで詳細を見る」から、目次、あらすじ、書評などを載せたページにリンクしています。

### 河合隼雄心理療法家の誕生



カワイハヤオ シンリリョウホウカノタンジョウ  
大塚信一著  
東京：トランスビュー，2009.6  
[Bookwebで詳細を見る](#)

ブックマーク

●所蔵:大学・大学院所蔵の資料は予約することで相互に取り寄せることができます。:

巻号	所在	別置記号	請求記号	資料ID	貸出区分	貸出状況	予約人数	備考
1	大学2F		289.1 Ka93H	209366	通常貸出	予約	0	

巻号ブックマーク

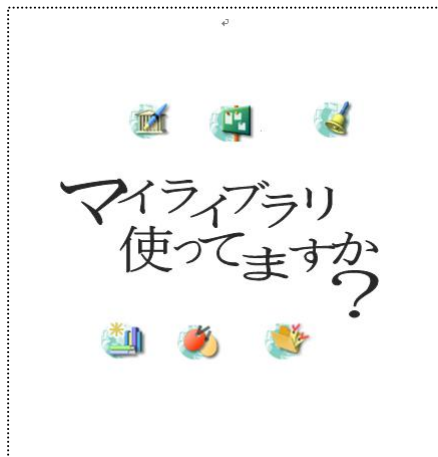
## TOPIC2. 全ての利用者の方がマイライブラリを利用できます

「いま何冊借りているか」「予約した本は利用できるか」「文献複写を申し込みたい」など自分の貸出状況、予約状況、文献複写の申込などができるマイライブラリは、これまで学部生、院生、教職員の方々に利用が限られていました。

この4月から利用登録をされた全ての利用者の方々がマイライブラリを利用できるようになりました。卒業生・修了生、生涯学習センター受講生の皆さん、元教職員の先生方も利用できます。

利用登録をされた方には、図書館利用者カードと一緒にマイライブラリのログインアカウントのシートをお渡ししています。

マイライブラリの使い方については、参照リーフレットを用意してありますので、ご希望の方はカウンターにお申し出ください。



借用中の資料

いま借りている本は何冊だっけ?

借用中の資料  
12冊の資料を借りています。 [詳細を見る](#)

詳細をクリックすると返却期限がわかります

9	新TOEICテスト... 英語単語 高橋浩一 著 2011/03/29まで返却してください。	資料ID: 943532, 延長回数: 0回
10	TOEICテスト出まひキープ... 短期決戦の特典集 CD 英語工藤 著 2011/03/29まで返却してください。	資料ID: 943538, 延長回数: 0回
11	TOEICテスト出まひキープ... 短期決戦の特典集 英語工藤 著 2011/03/29まで返却してください。	資料ID: 943537, 延長回数: 0回
12	これから始める新TOEICテスト英文法 大塚信一 著 2008. 資料ID: 945807, 延長回数: 0回 2011/03/29まで返却してください。	資料ID: 945807, 延長回数: 0回

チェックボックスが表示されているものはチェックを入れて貸出期間の延長ボタンをクリックすることで、貸出期間を延ばすことができます。

過去4年間に借りた資料を見るには、[操作メニュー](#)の履歴を参照してください。

## 展示ケースより

### 「東洋英和女学院大学図書館～探してみようこんな本～」



英和の図書館には約26万冊もの本があることをご存知でしょうか。

今回の展示では全4フロアの中から何冊かをピックアップし、フロアごとに展示しています。

図書館には勉強や就職に役立つ本はもちろん、それ以外にも様々なジャンルの本がたくさんあります。興味を持ったフロアがあったらぜひ実際に行ってみて探索してみてください。そして本との新たな出会いを見つけてほしいと思います。

5月末には一部展示資料の入れ替えも行いますので、ぜひお立ち寄りください。

#### << 5月～7月の開館予定 <<

5月～7月の通常と異なる開館日時は以下のとおりです。  
詳しくはホームページや掲示板でご確認ください。

5月	12日(土)	開館	9:00～17:00	金曜日振替授業
	18日(金)	閉館	4月30日の振替休日	
	26日(土)	開館	9:00～17:00	金曜日振替授業
6月	9日(土)	開館	9:00～17:00	木曜日振替授業
	23日(土)	開館	9:00～17:00	補講日開館
	30日(土)	開館	9:00～17:00	補講日開館
7月	7日(土)	開館	9:00～17:00	補講日開館
	16日(月)	開館	9:00～20:00	祝日だが授業あり
	30日(月)	閉館	7月16日の振替休日	
	31日(火)	開館	9:00～17:00	

横浜校地の大学図書館から六本木校地の大学院図書室に移り“住んで”3年が過ぎました。3年前の春、横浜にいた時にお迎えした大学の新生の皆さんは、いま就活や卒業へ向けての諸事に追われ多忙な日々を送っていることでしょう。

卒業後、人生を歩む道はいろいろあると思いますが、大学院の門を叩くことも選択肢の一つとして、ぜひお勧めします。

(編集担当：大学院図書室 横田)